

# 非認知教育専門家委員会

**IB Learner Profile**

**IB Learner Profile is ways  
to improve ourselves.**

**October,25,2023**

# IBの学習者像

**Inquirers**  
探究する人

**Open-minded**  
心を開く人

**Knowledgeable**  
知識のある人

**Caring**  
思いやりのある人

**Thinkers**  
考える人

**Risk-takers**  
挑戦する人

**Communicators**  
コミュニケーションができる人

**Balanced**  
バランスの取れた人

**Principled**  
信念を持つ人

**Reflective**  
振り返りができる人



## IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野をもつ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

### 探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

### 知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

### 考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

### コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

### 信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

### 心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の価値を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の価値もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようとする。

### 思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

### 挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熱意と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化と機会に富んだ方法で快活に取り組みます。

### バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生活を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

### 振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解しよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を 10 の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

# 日本の高校の校訓

太田高校：「文武両道」「質実剛健」

前橋高校：「質実剛健」「気宇雄大」

館林女子：「自律自治」「温雅健康」「敬愛親和」

高崎女子：「向学叡智」「清楚品位」「明朗闊達」

太田女子：「自立博愛」 太田東校：「誠・明・健」

桐生高校：「独立自尊」「自主自律」「向学共励」



## IBの学習者像

**探究する人**

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するためのスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

**心を開く人**

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、それらを評価し、その経験を糧に成長しようと努力します。

**知識のある人**

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

**思いやりのある人**

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

**考える人**

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

**挑戦する人**

私たちは、不確実性に対し熟慮と強い意思をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探ります。挑戦と変化に、機知に富んだ方法で忍耐強く取り組みます。

**コミュニケーションができる人**

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものもの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

**バランスのとれた人**

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

**信念をもつ人**

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

**振り返りができる人**

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

## （教育の目的：第一条）

教育は、**人格の完成を目指し**、  
平和で民主的な国家及び社会  
の形成者として必要な資質を  
備えた心身ともに健康な国民  
の育成を期して行われなけれ  
ばならない。



# 明確な目標 明確な道筋



# OECD：「社会情動的スキルに関する調査研究」（SSES）の対象スキルの説明

因子	スキル	説明
広い心 (経験への開放性)	好奇心	考えへの関心、向上心、理解と知的探究、知識欲旺盛な思考態度。
	忍耐力	さまざまな観点に進んで立つ、多様性の尊重、外国の人々や文化をよく理解している。
	創造性	探究や失敗からの学習、洞察、直感力によって新しい方法や考え方を編み出す。
作業の成果 (誠実性)	責任感	約束を守ったり、時間を厳守したりできて信頼できる。
	自制心	個人的な目標を達成するために、注意散漫や突然の衝動を避け、現在の作業に注意を集中できる。
	ねばり強さ	完了するまで作業や活動をたゆまず続けられる。
他者との関わり (外向性)	社交性	友人であれ、他人であれ、他者に近づき、社会的つながりをつくって維持することができる。
	積極性	自信を持って意見や要求、気持ちを声に出し、社会的影響を及ぼすことができる。
	活発さ	精力的にわくわくしながら、のびのびと日常生活を送る。

因子	スキル	説明
協働 (協調性)	共感	他者を理解し、その安寧を気に掛ける。親密な関係を大事にして心を注ぐ。
	信頼	他者は一般に善意を抱いていると考え、過ちを犯した者を許す。
	協同	他者と仲良く暮らし、すべての人々の相互の結びつきを大事にする。
感情抑制 (情緒安定性)	ストレス耐性	不安を効果的に和らげ、問題を冷静に解決できる（気を楽しんで、ストレスにうまく対処する）。
	楽観主義	自分自身と人生全体についての前向きで楽観的な期待。
	感情コントロール	不満を感じたときに腹立ちや怒り、苛立ちを抑える効果的な方法。
補助的指標	達成動機	自分自身について高い基準を定め、それを満たすように努力する。
	自己効力感	課題をこなして目標を達成する自分の力に対する確信の強さ。

# OECDのSSESとIBのATLの関係

因子	スキル	説明
広い心 (経験への開放性)	好奇心	考えへの関心、向上心、理解と知的探究、知識欲旺盛な思考態度。
	忍耐力	さまざまな観点に進んで立つ、多様性の尊重、外国の人々や文化をよく理解している。
	創造性	探究や失敗からの学習、洞察、直感力によって新しい方法や考え方を編み出す。
作業の成果 (誠実性)	責任感	約束を守ったり、時間を厳守したりできて信頼できる。
	自制心	個人的な目標を達成するために、注意散漫や突然の衝動を避け、現在の作業に注意を集中できる。
	ねばり強さ	完了するまで作業や活動をたゆまず続けられる。
他者との関わり (外向性)	社交性	友人であれ、他人であれ、他者に近づき、社会的つながりをつくって維持することができる。
	積極性	自信を持って意見や要求、気持ちを声に出し、社会的影響を及ぼすことができる。
	活発さ	精力的にわくわくしながら、のびのびと日常生活を送る。

因子	スキル	説明
協働 (協調性)	共感	他者を理解し、その安寧を気に掛ける。親密な関係を大事にして心を注ぐ。
	信頼	他者は一般に善意を抱いていると考え、過ちを犯した者を許す。
	協同	他者と仲良く暮らし、すべての人々の相互の結びつきを大事にする。
感情抑制 (情緒安定性)	ストレス耐性	不安を効果的に和らげ、問題を冷静に解決できる(気を楽しんで、ストレスにうまく対処する)。
	楽観主義	自分自身と人生全体についての前向きで楽観的な期待。
	感情コントロール	不満を感じたときに腹立ちや怒り、苛立ちを抑える効果的な方法。
補助的指標	達成動機	自分自身について高い基準を定め、それを満たすように努力する。
	自己効力感	課題をこなして目標を達成する自分の力に対する確信の強さ。



# OECD のSSES とIBのATLの関係

OECD SES			IB ATL	
因子	スキル	説明	スキル	カテゴリ
広い心 (経験への 開放性)	好奇心	考えへの関心、向上心、理解と知的探究、知識欲旺盛な思考態度。	<ul style="list-style-type: none"> <li>（態度はATLスキルに含まれないが、IBの学習者像に反映されている。）</li> </ul>	
	忍耐力	さまざまな観点に進んで立つ、多様性の尊重、外国の人々や文化をよく理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘り強さと忍耐を示す。</li> <li>我慢することができる。</li> </ul>	情動スキル (忍耐力)
	創造性	探究や失敗からの学習、洞察、直感力によって新しい方法や考え方を編み出す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいアイデアや質問を提起するのにブレインストーミングや視覚的図表を用いる。</li> <li>ありえないものや不可能なものも含めて、多数の代案を検討する。</li> <li>確証のある（本質的な）問題への新しい解決策を想像する。</li> </ul>	創造的思考
作業の成果 (誠実性)	責任感	約束を守ったり、時間を厳守したりできて信頼できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の行動に責任を持つ</li> <li>締め切りを守る</li> </ul>	協働スキル 組織（整理整頓）スキル
	自制心	個人的な目標を達成するために、注意散漫や突然の衝動を避け、現在の作業に注意を集中できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>専念し、集中する。</li> <li>集中力を発揮させるための方法を実践する。</li> <li>注意力の乱れを克服する方法を実践する。</li> <li>心と体の関連性を認識する。</li> </ul>	情動スキル (注意深さに関する自覚)
	ねばり強さ	完了するまで作業や活動をたゆまず続けられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘り強さと忍耐を示す。</li> <li>我慢することができる。</li> </ul>	情動スキル (忍耐力)

# OECD のSSES とIBのATLの関係

OECD SES			IB ATL	
因子	スキル	説明	スキル	カテゴリ
他者との 関わり (外向 性)	社交性	友人であれ、他人であれ、他者に近づき、社会的つながりをつくって維持することができる。	該当する特定のスキルなし	コミュニケーションスキル 協働スキル
	積極性	自信を持って意見や要求、気持ちを声に出し、社会的影響を及ぼすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップを発揮し、集団の中で様々な役割を引き受ける</li> <li>自信の権利とニーズを主張する。</li> <li>前向きな思考を実践する</li> </ul>	協働スキル 情動的スキル（自己動機付け）
	活発さ	精力的にわくわくしながら、のびのびと日常生活を送る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前向きな思考を実践する。</li> </ul>	情動的スキル（自己動機付け）
協働 (協調 性)	共感	他者を理解し、その安寧を気に掛ける。親密な関係を大事にして心を注ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>共感する。</li> <li>他者の見解や考えに積極的に耳を傾ける。</li> </ul>	協働スキル
	信頼	他者は一般に善意を抱いていると考え、過ちを犯した者を許す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の成功のために手助けをする。</li> <li>他者が貢献することを鼓舞する</li> </ul>	協働スキル
	協同	他者と仲良く暮らし、すべての人々の相互の結びつきを大事にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当する特定のスキルなし</li> </ul>	コミュニケーションスキル 協働スキル

# OECD の SSE S と IB の ATL の関係

OECD SES			IB ATL	
因子	スキル	説明	スキル	カテゴリ
感情抑制 (情緒安定性)	ストレス耐性	不安を効果的に和らげ、問題を冷静に解決できる（気を楽しんで、ストレスにうまく対処する）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストレスや不安を減らす方法を実践する。</li> </ul>	情動的スキル（感情のコントロール）
	楽観主義	自分自身と人生全体についての前向きで楽観的な期待。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前向きな思考を実践する</li> <li>「上手に失敗すること」を実践する</li> </ul>	
	感情コントロール	不満を感じたときに腹立ちや怒り、苛立ちを抑える効果的な方法。	<ul style="list-style-type: none"> <li>衝動性や怒りを克服する方法を実践する。</li> </ul>	情動的スキル（感情のコントロール）
補助的指標	達成動機	自分自身について高い基準を定め、それを満たすように努力する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>困難だがやりがいがあり、現実的な目標を設定する。</li> <li>個人的な目標や学問的な目標を達成するために方法を計画し、行動する。</li> </ul>	組織（整理整頓）スキル
	自己効力感	課題をこなして目標を達成する自分の力に対する確信の強さ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいATLスキルを試し、その有効性を評価する。</li> <li>ATLスキルの成長に対する振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が既にできることは何か？</li> </ul> </li> </ul>	振り返りスキル

# Approaches to Learning (ATL) 学習の方法（協働スキルの例）

ATL = Learn how to learn 学習の方法 = 学び方を学ぶ

ATL Skills (skills to learn better) ATLスキル（よりよく学ぶためのスキル）

ATL skill categories	MYP ATL skill clusters
Communication コミュニケーション	I. Communication コミュニケーション
Social 社会的	II. Collaboration 協働
	III. Organization 整理整頓
Self-management 自己管理	IV. Affective 情動
	V. Reflection 振り返り
Research リサーチ	VI. Information literacy 情報リテラシー
	VII. Media Literacy メディアリテラシー
	VIII. Critical thinking 批判的思考
Thinking 思考	IX. Creative thinking 創造的思考
	X. Transfer 転移

Collaboration: 協働スキル
関係を築き発展させるために、ソーシャルメディアネットワークを適切に用いる。
共感する。
意思決定のために責任を委譲し、共有する。
他者の成功のために手助けをする。
自分の行動に責任を持つ。
対立に対処し、問題を解決して、チームで協働する。
合意を形成する。
公平で、公正な決定をする。
他者の見解や考えに積極的に耳を傾ける
効果的に交渉する。
他者が貢献することを鼓舞する。
リーダーシップを発揮し、集団の中でさまざまな役割を引き受ける。
自身の権利とニーズを主張する。

# Approaches to Learning (ATL) 学習の方法（情動スキルの例）

ATL = Learn how to learn 学習の方法 = 学び方を学ぶ

ATL Skills (skills to learn better) ATLスキル（よりよく学ぶためのスキル）

ATL skill categories	MYP ATL skill clusters
Communication コミュニケーション	I. Communication コミュニケーション
Social 社会的	II. Collaboration 協働
Self-management 自己管理	III. Organization 整理整頓
	IV. Affective 情動
	V. Reflection 振り返り
Research リサーチ	VI. Information literacy 情報リテラシー
	VII. Media Literacy メディアリテラシー
	VIII. Critical thinking 批判的思考
Thinking 思考	IX. Creative thinking 創造的思考
	X. Transfer 転移

Affective: 情動スキル
専念し、集中する。
集中力を発達させるための方法を実践する。
注意力の乱れを克服する方法を実践する。
心と体も関連性を認識する。
粘り強さと忍耐を示す。
我慢することができる。
衝動性や怒りを克服する方法を実践する。
いじめを防止し、撲滅する方法を実践する。
ストレスや不安を減らす方法を実践する。
失敗の原因を分析し、特定する。
セルフトーク（心の中での自分との対話）を管理する。
前向きな思考を実践する。
逆境や誤り、失敗後の「回復」を実践する。
「上手に失敗すること」を実践する。
失望や満たされていない期待への対処を実践する。
変化への対処を実践する。



# IB Learner Profile

1. Inquirers →探求する人
2. Knowledgeable →知識のある人
3. Thinker →考える人
4. Communicator →コミュニケーションができる人
5. Principled →信念をもつ人
6. Open-minded →心を開く人
7. Caring →思いやりのある人
8. Risk-taker →挑戦する人
9. Balanced →バランスのとれた人
10. Reflective →振り返りができる人

# IB Learner Profile

1. Inquirers → **より深く**探求する人
2. Knowledgeable → **より幅広い**知識のある人
3. Thinker → **より深く**考える人
4. Communicator → **よりうまく**コミュニケーションができる人
5. Principled → **より強く**信念をもつ人
6. Open-minded → **より大きく**心を開く人
7. Caring → **より細やかな**思いやりのある人
8. Risk-taker → **より挑戦**する人
9. Balanced → **より**バランスのとれた人
10. Reflective → **より**振り返りができる人

# IB Learner Profile・・・ ・・・は向上への道筋

